



つばさっ子

2013年 4月号

今月の行事

1日(月)	10:00~11:30	入園を祝う会
6日(土)	9:00~11:00	きりん懇談会
13日(土)	9:00~11:00	りす懇談会
19日(金)	18:30~20:30	ぞう懇談会
20日(土)	9:00~11:00	ぱんだ懇談会
27日(土)	9:30~11:00	うさぎ懇談会

※26日(金)は職員会議です。月1回18:30~20:30まで全職員で会議をしています。職員会議の日は18:30までのお迎えにぜひご協力お願いします。

2013度は121名のスタート 職員体制

ひよこぐみ(5名)	上原 峰子	川田 綾香	南 弥生
りすぐみ(22名)	岡本 華奈	川野 良子	奥山 喜久美 森脇 智子
うさぎぐみ(22名)	谷野 則文	高木 雅	川崎 理恵子
ぱんだぐみ(29名)	烏野 佳恵	前川 良太	松井 香織
きりんぐみ(16名)	志賀 教子	(仲嶺 真弓)	
ぞうぐみ(27名)	池本 美和	山本 知輝	
給食室	村井 康平	中川 知子	中条 礼子
事務室	一森 すすえ	吉尾 由紀枝	
副園長・主任	仲嶺 真弓		
園長	市原 悟子		



子ども合計121名 職員23名でのスタートです。

お知らせ

年度当初に持ってきてもらうもの(入園後1ヶ月以内に担任へお渡しください)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
①ぞうきん	3枚	3枚	3枚	3枚	3枚	3枚	大きさ(タオル4つ折り)
②ティッシュペーパー(箱)	5箱	5箱	5箱	5箱	5箱	5箱	保育園で使用します。
③手洗い石鹸	3個	3個	3個	3個	3個	3個	保育園で使用します。子どもの手洗いに使いますので刺激の少ないものをお願いします。

※①②③の内容は必要に応じて年度により変更することがあります。ご了承ください。

2013年度スタート。どうぞよろしくお願ひ致します。

市原 悟子

開園して2年目のつばさ共同保育園、昨年の経験を活かし子ども達の為にさらにより良い保育園にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。運営に関することなどお伝えします。

1) つばさ共同保育園は、社会福祉法人アトム共同福祉会が運営に責任をもっています。

以下が理事会のメンバーです。理事会は2ヶ月に1回行われています。

市原悟子 理事長兼つばさ共同保育園園長

金石愛子 非常勤理事 美熊台民生児童委員 (元アトム共同保育園副園長・栄養士)

山本健慈 非常勤理事 和歌山大学学長

鬼頭彦司 非常勤理事 瀧本善則 非常勤理事

原田 仁 非常勤理事 【監事 吉木浩 赤塚満紀子】

苦情解決委員と第三者委員をお知らせします。

苦情受付担当、苦情解決委員 (市原悟子・仲嶺真弓)

つばさ共同保育園に対する意見や要望など遠慮なく何でも伝えて下さい。直接は言いにくい場合もあるとは思ひますがよりよい保育園づくりのためには匿名ではなく顔を合わせて話すことが重要だと思ひます。職員と保護者は決して敵対関係ではありません。「モンスターペアレンツ」とは決してとらえませんので。是非直接伝えて下さい。

第三者委員 苦情解決委員に言いにくいことは下記の方にお伝えください。

- ・山本 耕平 熊取町つばさが丘北3-14-4 電話 072-487-8414
- ・若柳 みよこ 熊取町自由が丘1-5-17 電話 072-452-4540

2) 『つばさっ子』とは1ヶ月間の園での様子を知らせるお便りです。

- ①子どもの世界を理解してもらふ＝大人の感覚では理解不可能なことを子どもはやらかします。子ども理解が進めば誤った見方、過度な心配、不安が解消できると思ひます。
- ②子どもの発達の特徴を理解してもらふ＝子どもにはその年齢の発達の特徴があります。それを理解すれば慌てることなく子どもに対応することができると思ひます。
- ③わが子理解、よその子理解をしてもらふ＝わが子の特徴を知るとわが子との付き合い方がわかります。他人の子どもを知ることで偏見が克服できます。子どもは色々な影響を受けながら成長します。もちろん親の影響が大きいと思ひますが、友達や保育士や周囲の大人の影響も大きいのです。子育てを親だけで抱え込むと確実にしんどくなります。特にわが子ながら手がやける、この子には疲れると感じている保護者の方は「みんなと一緒に育ててもらおう」と考えてみて下さい。子どもはみんな一人ひとり違います。だから保育士も対応に悩みます。職員と保護者は子育てのパートナーです。支え合って子育てしていきましょう。そのきっかけづくりのための『つばさっ子』です。大いに活用していただければと思ひます。

3) 年間行事予定表の説明

- * 親子まつり＝0～5歳児まで全クラス対象の行事です。
- * お弁当の日＝全クラスお弁当をお願い致します。その日は給食室の大掃除を行います。
- * 祖父母交流会＝平日、土曜日の2回企画しています。
 - * パパ懇＝父親だけの懇談会です平日、土曜日の2回企画しています。
- * お泊り保育＝保育園で一泊します。夕食づくりも子どもたちで行います。
 - * お月見会＝良い企画、アイデアがあればお寄せ下さい。
 - * 運動会＝園庭で4、5歳児のみの取り組みです。

《運動会についての説明をさせていただきます》

場所は園庭で行います。

少し狭いかと心配でしたが非日常の多くの観客の前で行う運動会なので子どもの緊張を少なくしたいとの考えで昨年、園庭で行いました。「子どもの表情が見える距離感が良かった」との感想が多く聞かれました。隣の2号公園を借りることも考えられますが、広い場所では音響のボリュームを上げなければならないので近隣の方の迷惑になることを避けるために今後も園庭で行うこととします。

運動会に参加するのは4、5歳児のみとします。

理由は

- ①低年齢の子どもにとって非日常の緊張の体験は必要ではないと考えます。
自分の意志と無関係に強制される体験はなるべく少ない方がいいのです。
恥ずかしい、見られたくないと思っても泣くしか表現できない0、1、2歳児の年齢です。
 - ②3歳児の子どもは目的が明確にできなくて、自分をコントロールすることが難しく緊張の方が多く楽しむことができません。応援参加という形で是非応援してあげて下さい
- *出し物についての見解をお伝えします。

子どもたちの出し物を期待する（可愛い姿、頑張る姿）を見たいという保護者の思いもわかりますが、どうか子どもの気持ちになって考えてみて下さい。

一人一人がこれをしたいという欲求のないことを全員で行うためには、強制しかありません。楽しめる子どもは良いのですが、嫌がる子どもには苦痛しかなく、嫌がる子どもを叱るか、なだめるか保育士も四苦八苦です。好きな遊びを邪魔されずにしたい年齢の子どもたちにとって、したくない練習を強制されることは何の意味もありません。

「やりたくないこともさせないとわがままな子どもになる」
「学校に行って嫌なことから逃げる子になる」ということもよく聞きます。自分に置き換えて考えてみて下さい。

保育園、幼稚園時代の運動会がその後の人生に決定づけになっていますか？0歳から保育園で過ごす子どもたちだから、大人の管理下に置かれ大人の都合に合わず生活を送らせたくないのです。たった一日の運動会の為に職員、子どもがどれだけ苦痛な時間を過ごすことになるのでしょうか。大人の満足の為の運動会ではなく、出来栄は気にしない子どもが楽しむ運動会を今年も考えたいと思います。どうぞご理解下さい。



- *クリスマス会・節分・ひなまつり＝季節の行事を楽しみます。
- *すもう大会＝卒園記念行事として子どもたちが「相撲」を組みます。
- *お誕生日会＝毎月お誕生日を迎える子どもを祝福する取り組みの日です。
- *クラス懇談会＝子どものこと、子育てのこと、仕事のこと、社会的なこと、悩んでいること、何でも話し合える場です。子どもを預けることへの不安や担任に聞きたいことなど聞ける場です。直接話し合わないとは不信や誤解は解消できません。是非活用して下さい。

4) 健康管理について

- ・ 準看護師資格取得の職員を配置して、健康管理に努めています。
- ・ 5月に尿、蟻虫検査を行います。事前に検査に必要な物は配布しますので、忘れずに提出して下さい。採取の仕方がわからない方は遠慮なく担任にお聞き下さい。
- ・ 歯科検診は「根来歯科」の先生が検診してくれます。
- ・ 内科検診は「竹井クリニック」の先生が年2回検診してくれます
- ・ 視力検査は職員が検査器具を使用して行います。
- ・ 就学前健康診断は学校で行う健康診断です。事前に入学予定の学校からお知らせがあります。



5) 子どものケガについて

- ・ 今まで園でケガをした場合は、職員が病院に連れて行ってきましたが、医師から色々質問された時、職員では判断に迷うことがあります。受診は保護者の方でお願いしたいと思います。
- どうぞよろしくお願い致します。

6) 個人情報保護に関する方針

個人の人格尊重の理念に基づき個人情報の保護に努めます。

7) 危機管理に取り組んでいます。

- ・ 年間計画で避難訓練を行っています。(不審者、地震、火事)
- ・ 全職員が普通救命講習を受けています。

昨年4月、81名の子どもでスタートし、途中入園児18名が加わり3月末には99名になりました。

開園当時は初めての環境に子どもたちは不安で大泣き、泣き声が響き渡る一か月を経て、徐々に慣れて来ました。開園2年目の今年は121名(継続児85名、新入園児36名)93世帯でスタートします。新入園児は慣れるまでには1ヶ月はかかるかと思えます。保護者の方は子どもの泣き声や朝の「行きたくない」「つばさキライ」の言葉に不安を感じると思いますが、新しい環境にすぐに適応する子どもは滅多にいません。保育室に慣れるにも、担任に安心するまでにも時間がかかります。必ず泣きます。不安を感じて泣くのは当然のことです。しかし毎日過ごすことで必ず慣れますのでどうぞ気長く待ってあげて下さい。緊張から食事が食べられない。午睡ができない子もいます。この状態が

続くと体調を崩すことも予想されます。慣れるまではできるだけ早くお迎えに来てあげて下さい。

『園での集団生活のメリット、デメリット』わが子を他人に委ねるには覚悟が必要です。最大メリットは親や大人が体験させてあげられない子ども同士の遊びの体験です。二番目に親以外の大人との関わりです。他人の大人が自分を大切に思ってくれる実感は人生にも影響します。もちろん職員だけでなく友達のお母さん、お父さんも含まれます。自分を大切に思ってくれる人が一人でも多くいた方が絶対幸せだと思いませんか。人間関係希薄だと言われている現在だから、お互いを知って『おたがいさま』の関係をづくり子どもを共に育てましょう。

デメリットは伝染病に感染しやすい。ケガをする。この2点だと思います。部屋には空気清浄器を設置しています。うがいや手洗いなど感染予防にも気を付けています。しかし伝染性の病気は毎年のことながら流行します。保育園時代一番保護者がしんどい状態になるのは子どもの病気の時だと思います。年齢が低い時は抵抗力が付いていないので病気になりがちですが年々強くなります。

子育て中の大変さを職場に理解してもらうのも重要です。頼める人を探しておくのも必要なことです。

職員が一番心を痛めるのは子どものケガです。子どもがケガをするとこれ以上保育士を続けられないと私も何度も思いました。多人数の生活の場所なのでケガのないように細心の注意をはらいますが大人の予想外のことも起こり得ます。特に男の子は危険なことをあえてしたがりがケガにつながるケースも多く痛みを知って次に活かすしかないこともあると思う一方でケガを未然に防止する必要も感じて悩みます。

0, 1歳児は言葉が使えないので噛む、引っ掻く表現になりがちです。他園のことが「噛む子は親の愛情不足」「うちの子どもは被害者、加害者の親に謝罪を求める」「噛ますのは保育士が怠慢だから責任追及する」など親同士のケンカに発展、裁判になりかけた例、又保育士が精神的にしんどくなって退職に追い込まれた例。つばさではこのような状態をつくらないようにしたいと思います。

子どもの関係は固定的ではありません。昨日泣かされても今日は泣かず立場になっていることもあり流動的です。激しいケンカを繰り返してもすぐに仲直りできるのは子どもの特性です。心の復元力があるからです。子どもの特質を理解して親同士が「おたがいさま」と言い合える関係を作ることが重要です。

その関係づくりの場が2か月に1回の懇談会です。どのような親かわからないのは職員にとっても不安です。どうか懇談会に参加して自己紹介を深めて下さい。集団生活にはメリットだけではなくデメリットもあると覚悟していただけたらと思います。4月は子どもも大人も初めての場所で、初めての出会いです。

職員と保護者の関係も慣れるまで緊張関係だと思います。私はじめ職員も至らない点が多々あると思いますが、厳しく批判するばかりでなくどうぞ職員も働き続けられるように支えて下さい。

どうぞ宜しくお願い致します。



ようこそ！！ つばさ共同保育園へ！

2013 年度、よろしくお願ひします

仲嶺 真弓

新しい春が再びやって来ました。つばさ共同保育園にとっては 2 度目の春です。1 年目の 2012 年度は、新しく開園するこの保育園を選んで来てくれた保護者に感謝すると共に、どんなことを望んでいるのか・何が必要なのか・を常に模索しながら歩んだ 1 年でした。

2 年目の今年、新たな保護者・職員の仲間を迎え、どんな日常のドラマが待っているのか、期待に胸が高鳴っています。1 年目で得たことを土台にして、今年度吹く新しい風も織り交ぜながら、より居心地のいい場所（保育園）作りを目指したいと思います。

自己紹介が後になってしまいました。私は、このつばさ共同保育所で副園長兼主任という役割を担っております、仲嶺 真弓（なかみね まゆみ）と申します。子どもたち、職員からは、仲嶺の仲をとって「仲ちゃん」もしくは、「仲ちゃん先生」と呼ばれています。先生と呼ばれるのは未だに自分では性に合いませんが、年の離れた職員からは、無理のないことかと理解しております。保護者の中でも気軽に「仲ちゃん」と呼んでくれる方が居て、それが何よりも私の心地良く思える瞬間です。なので、気軽に呼んで頂ければと思っています。

家族は今年で傘寿の祝いを迎える母と、5 つ離れた姉と 3 人暮らし。私は独身ではありますが、保育士になって 27 年目。その間見てきた子どもの姿と、私なりに掴んだ子どもとの付き合い方が、何か子育てに役に立つこともあるのではないかという思いでこの仕事を続けています。この仕事を続けている大きな理由がもう 1 つ。それは、「この保育園が大人も育つ保育園でありたい」という視点で物事を考え続けている自分がいるからです。保育園は子どものことを 1 番に考えるところ。だからこそ、子どもを育む大人が、大切なことは何かを考え合うことが大事だし、いろんな感じ方や考え方があることに気付き、その中から我が子にあった付き合い方を見つけることも大事だと思っています。子ども理解が人理解に繋がる瞬間も沢山見てきました。勿論、自分にとってもそうでした。大人もまだまだ発達途上。子どもと共に成長しましょう。今年度も 1 年、よろしくお願ひします！！



1年間どうぞ宜しくお願いいたします

事務室 吉尾 由紀枝

まずは、自己紹介です。

あだ名 … よしおちゃん

家族構成 … 夫、息子のひゆう（新小学3年生で、ゆかいな発達障がいっ子）
の3人暮らし

住 所 … 泉佐野市

出身地 … 北海道稚内市（北海道弁は、まだまだ健在です）

子育てで大切にしていること … 子供の気持ちをわかってあげること

新しい環境とゆうのは、子どもも保護者も不安でいっぱいですね。

私も、毎年この時期は、もやもやとした不安が渦巻いていました。発達障がいをもっている子が、健常の子ども達と共に過ごすためには、周りの理解が必要不可欠で、学校との信頼関係がなければ、自分らしく、安心して過ごすことが出来ません。だからいつも「新しい担任の先生は、ひゆうの事をどこまで理解してくれるだろうか、心の対応をしっかりとしてくれるだろうか。」と、漠然とした不安がありました。

…でも、今年の春は、違ったのです。たくましく成長してくれたひゆうは、私の事も成長させてくれ、「たぶん大丈夫！」と、思えるようになりました。

つばさ職員となった前年度、1人で留守番させたり、近所のお宅で過ごさせたりと、今までなら、考えられなかった色々な経験をして、寂しい思いもさせたけれど、得たものもいっぱいだったんだと思いました。どんな子どもでも、親が思っている以上に、大丈夫なんだと思います。

つばさ共同保育園の職員となって2年目の今年は、地域の子育て支援に、もっと力を入れていく事と、保護者のみなさんと、もっとわかり合える事が目標です。クラス懇談会にも参加したいと思っていますので、その時は、仲間に入れて下さいね。

いつも笑いの耐えない、賑やかな事務室ですので、気軽に立ち寄って下さい。子どもも大人もほっこりできる、そんなつばさ事務室です。

事務室にいつもいます

一森すすえ

はじめまして。事務室の一森すすえと申します。気軽にいっちゃんと呼んでもらえたらうれしいです。ずっと貝塚に住んでいて中学2年と小学6年の娘の3人と楽しく暮らすシングルママです。昨年4月つばさ共同保育園の開園と同時に職員となり、1年が経過しようとしています。私とこの園の姉妹園（アトム共同保育園）との関係は今から12年前からです。私は、うまく子育てができないことに悩む母で様々な子育て教室や一時預かりの保育園をさまよっていました。そんなときアトムと出会いました。私が想像していた保育園観や保護者と保育士との関係の在り方がかなり違ってはじめてはじめてまどいました。でもいつのまにか子育てを一緒にしてもらっている気持ちになり、次第に何でも相談できるようになりました。楽しいことばかりではなくて、時にはわかりあえず、日報や懇談でやりあうこともありました。そして子どもが卒園するときには、自分が卒園したくないとわんわん泣きました。卒園してからも気が付けば困ったときはアトムを訪ねていました。つばさもそんな場所です。私がたまたまそんな関係になったから？と思う人もいるかもしれませんが、でも一年間ここで職員として働いてみてやはり私だけではなかったのだと再認識しました。人の付き合い方は様々ですが、まずは何でも伝え合って話し合い、少しずつお互いを分かり合っていけたらいいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。